

1 題材の目標及び題材構想

「幼児とふれあおう」(10時間完了)

(1) 題材の目標

- ① 幼児に関心をもち、幼児と適切にかかわろうとする。(関心・意欲・態度)
- ② 幼児との触れ合いについて課題をもち、自分なりに課題解決に向けて工夫することができる。(工夫・創造)
- ③ 幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりについて観察し、整理することができる。(技能)
- ④ 幼児の心身の発達の特徴や、幼児にとっての遊びの意義について理解することができる。(知識・理解)

(2) 評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度 …【関】	幼児に関心をもち、幼児と積極的にかかわったり幼児のおもちゃづくりに意欲的に取り組んだりしようとする。
生活を工夫し創造する能力 …【工】	幼児との触れ合いについて接し方や遊び道具について課題をもち、課題解決に向けて工夫しようとしている。
生活の技能 …【技】	幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりについて観察し、整理しようとしている。
生活や技術についての知識・理解 …【知】	幼児の心身の発達の特徴や、幼児にとっての遊びの意義について理解しようとしている。

(3) 題材構想

各過程のねらい	時数	学 習 活 動	教師の支援・留意点 ☆評価
○自分の幼いころを振り返り、家族や多くの人々に支えられてきたことに気付く。	1	<u>自分の幼いころを振り返ろう</u> ・生まれた時の身長、体重 ・現在の身長、体重と比較してみよう ・好きだったもの、こと、遊び	・家庭環境や養育歴に十分配慮する。 ・成長の様子を共有できるようにする。 ☆積極的に自分の幼児期調べをすることができたか。 (ワークシート)【関】
○幼児と一緒に遊んだり観察したりして、幼児に関心をもちことができる。	1	<u>身近な幼児の姿を観察しよう</u> ・観察のポイントを参考に、自分なりの課題をもって幼児と接する。 ・幼児の表情やことば ・行動の特徴、遊びの種類や遊び方 ・保育士の幼児へのかかわり方 ・保育園の施設の特徴 ・(中学校との違い、使いやすいつ工夫点など) ・観察して気付いたことをプリントにまとめる。	・幼児とうまくかかわり合えない生徒にきっかけをつくるための支援をする。保育園にも依頼しておく。 ☆積極的に幼児とかかわることができたか。 (観察・ワークシート)【関】
○幼児の一日の生活を知り、遊びの重要性や意義について考える。	2	<u>幼児の生活と遊びの意義を知ろう</u> ・幼児と中学生の生活時間の比較 ・思い出に残っている遊び ・遊びで育つ力 ・遊びの重要性	・幼児は遊びを通していろいろなことを学んでいることに気付かせる。 ☆幼児にとっての遊びの意義を理解できたか。 (ワークシート)【知】
○遊びを助けるおもちゃや安全な環境について考える。	1	<u>おもちゃや安全な環境について考えよう</u> ・保育園にあったおもちゃや遊び場所の工夫 ・幼児に与えるおもちゃの条件 ・安全に遊ぶための遊び場所	・保育園訪問の時の写真や実物のおもちゃを準備し、活発な話し合いになるようにする。 ☆幼児にふさわしいおもちゃの条件を説明することができる。 (ワークシート)【関・知】
○幼児の心身の発達の特徴を知り、まとめることができる。	3	<u>幼児の心身の発達の特徴を知ろう</u> ・体の発達 〔運動機能・生理的機能〕 ・心の発達 〔情緒・社会性・ことば〕 ・生活習慣 〔基本的生活習慣・社会的生活習慣〕	・保育園訪問をした時の幼児の様子や保育士の幼児へのかかわり方などを想起させる。 ☆幼児の心身の発達の特徴について理解できたか。 (ワークシート)【知】
○手づくりのおもちゃを使って幼児と適切にかかわることができる。	2	<u>幼児と遊ぼう</u> ・自分の作ったおもちゃを使って幼児と交流をする。 ・学んだことを生かして積極的にかかわる。 ・礼状を書く。 ・実習のまとめをする。	・年次の違うクラスとの交流ができるように、交流時間を3～4つに区切り移動させる。 ☆幼児の心身の発達を考えて、幼児との触れ合いやかかわり方を工夫することができたか。 (観察・ワークシート)【技・工】